

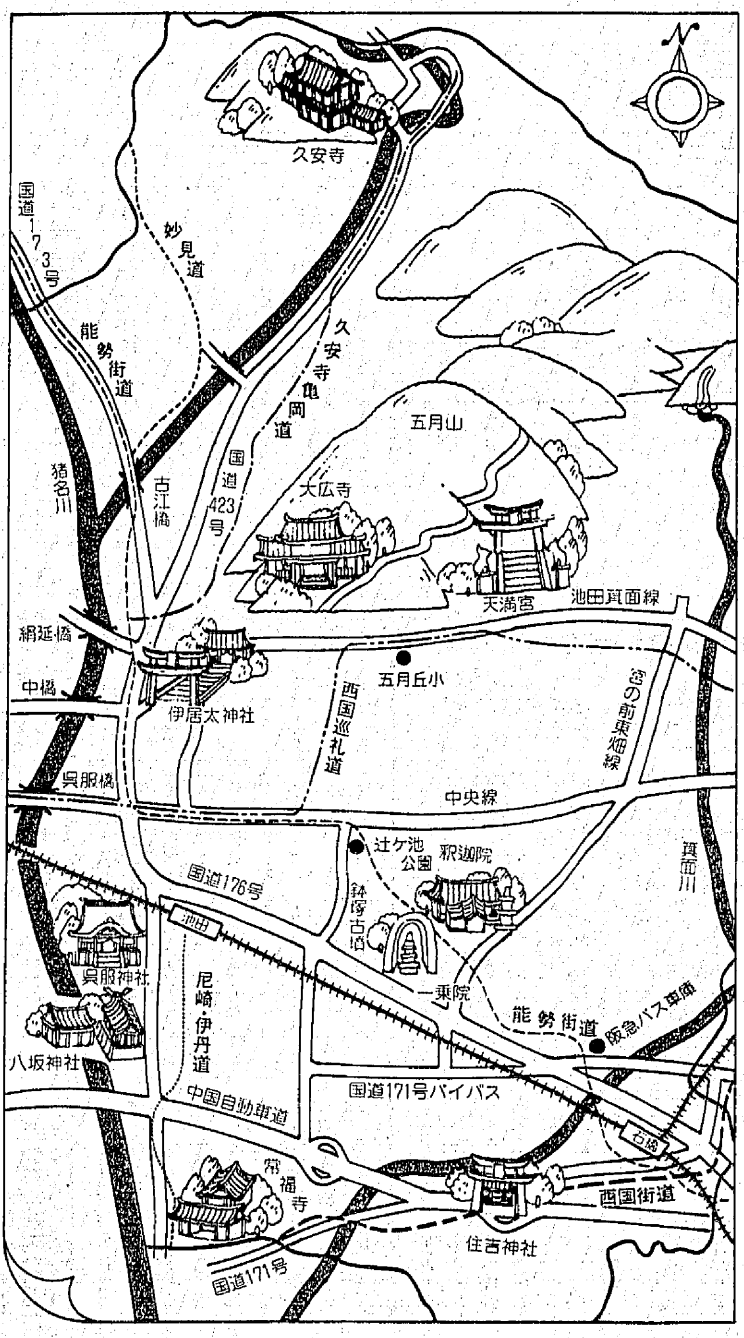
池田市広報

発行 大阪府池田市 池田町 城南1-1-1
 編集 池田市 城南1-1-1
 住所 池田市 城南1-1-1
 電話 (0727)52-1111

人口	101,182
男	49,866
女	51,316
世帯数	36,026

(10月1日現在)

歩く街道のふりさとの



私たちのまち・池田市は、古くから政治、経済、文化の中心地として栄えました。

今も、その姿をこめめる六つの「街道」は、そのひとつの証です。

しかし、参勤交代や巡礼でにぎわった街道も、現在では新しい道路のわき道となり、ひっそりと影を寄せ、時の経過を眺めています。

忘れかけられようとしている旧街道を再発見し、身近に息づいている過去の歴史を心に刻んでおくことは、ふるさと池田を再認識し、郷土愛を育てるものです。

秋の一日、のんびりと祖先の残した街道を歩き、歴史のぬくもり、にぶれてみてはいかがでしょうか。

久安寺亀岡道(余野街道)

伏尾町に市内最古の道標

本部の交差点(国道一前を過ぎ、京都府亀岡に七三号と国道四三三号が通じる道です。細河の広がる田園風景を眺めながら、久安寺の門を眺めながら、余野川(久安寺川)に沿って東山へ

安寺川)に沿って東山へでるとバス停留所のそばに、小さな石地蔵をまつる社があります。その横に道標が二つあります。一つは寛文十二年(一七二二)のもので、左は久安寺かめ山みち」と刻ま

能勢街道

市内を南北に縦断

大阪における近世庶民の信仰の場所であった能勢の妙見は、参詣する人が多く、能勢街道は早くから開けていました。

この街道は、市内を南北に通じる道で、大阪から、猪名川沿いを北上し



妙見道

古江橋の道標に「左多田院妙見山」とあり、右に進むと古江の如來寺の裏山にでます。

市宮古江住宅前の道標には、「北辰妙見大菩薩」

西国巡礼道(中山・勝尾寺道)

箕面の勝尾寺から宝塚の中山寺へ行く道が西国巡礼道です。五月山の山すそにある村の間に街道が残っています。寛文十二年(一六七二)の道標があり、「右中山道」と刻まれています。

ここから西畑に入ると丁字路となり、左に下ると桑野小学校にでます。



尼崎・伊丹道

京都の羅城門を起点として、九州の大宰府まで通じ数々のドラマを生んだ西国街道。

池田は、東と西国を結ぶ要衝で、戦国時代には重要な軍用道路として、徳川時代には西国大名の参勤交代の道として、人馬の往来も少なくありませんでした。

助役に荒木昭氏



九月三十日、小伏雄男氏が退職。池田市助役に荒木昭氏(前総務部長)が、一日、新任されました(任期四年)。

池田市助役 荒木昭(五十歳)

教育委員長に津田信基氏 市立池田病院長に中山賢氏

教育委員長には、任期満了となった西田誠行氏の後任に、津田信基氏が選ばれました(任期一年)。

また、市立池田病院院長には、久保田義弘氏の退任により、中山賢氏(五十七歳)が、一日、新任されました。

六街道を紹介したパンフレット「グラフィけだ」にあり、ご利用ください。